

第2部

研究者一人ひとりによる研究成果発表

研究者一人ひとりによる研究成果動画・ポスターをWebサイトで公開しました。

研究者一人ひとりによる研究成果動画・ポスターを防災科研Webサイトで公開しました。皆様からの投票を元に一次選考を行い、その後、防災科研内での審査を経て動画賞・ポスター賞をそれぞれ3点ずつ選出し、2月28日の発表会当日、結果を発表しました。

第2部プレゼンター 研究主監 岩波 越

動画賞

地震時、室内で何が起きるか。大切な人を守るために！



動画賞に選出いただきありがとうございます。本動画は、地震時における室内被害について、E-ディフェンスでの実験研究に向けた取り組みを紹介したものです。実験は最近実施されたため、本動画では紹介できませんでしたが、来年同様の企画があったら是非紹介します。「大切な人を守るためにはどうすべきか」を考えていただけると嬉しいです。



地震減災実験研究部門
佐藤 栄児

防災基礎力尺度の開発



防災は、一部の興味ある人だけで行うものではありません。皆さん一人ひとりの中に、防災が根付いて初めて効果が発揮されます。防災基礎力尺度は、皆さんの中にどの程度防災が根付いているのかを、目に見える形で表すことができます。レジリエントな社会に近づけるよう、これからも一緒にがんばっていただけると嬉しいです。



災害過程研究部門
松川 杏寧

自らの命を守る科学的な防災教育の研究



防災教育の指導者(学習支援者)に向けて防災科研の研究を紹介する動画です。防災は実践的なものですが、その基礎となる科学的な知識や見方、考え方を身に付ける防災教育の実現を目指しています。研究に関わっていただいている全ての関係者に感謝を申し上げます。



災害過程研究部門
池田 真幸

選考方法

一次評価

2022年2月14日時点の高評価数に基づき、動画、ポスターともにベスト3を選出。

二次評価

一次評価で選出された各ベスト3の研究活動・成果について、「必要性」、「有効性」、「効率性」の観点から総合評価の上、動画賞・ポスター賞を決定。

※QRより各研究者の動画・ポスターがご確認できます。



ポスター賞



地震津波防災研究部門
ヤノトモコ エリザベス

起こり得る地震の最大規模の推定へ —日本列島の微小地震と地殻温度構造から分かること—

起こり得る地震の最大規模は、地震に備える上で重要な情報の1つです。地震は地球内部の限られた深さ範囲の中で発生していて、その深さ範囲を地震発生層と呼んでいます。日本列島に多数設置された地震計のデータの解析から求めた微小地震活動や、地下の温度構造をもとに地震発生層が地域によって異なることが明らかになります。地道な観測がこのような研究にも貢献している事に興味を持っていただけたら幸いです。



マルチハザードリスク
評価研究部門
大角 恒雄

ギリシャ神話とAD365の地震・津波

ポスターの評価、ありがとうございます。国際学会での発表者の色の使い方、PRの仕方を参考としました。ポスターは、相手の目を見て説明するので、長い文章は避け、ポイントだけを強調することが大切です。一般の方が見て理解でき、専門家の方が見れば、どこまでのレベルの解析かが分かるような内容としました。



マルチハザードリスク
評価研究部門
先名 重樹

広域地盤モデルの構築と 地盤リスク評価の新展開

このたびは、ポスター賞に選んでいただき、ありがとうございました。地盤モデルの新たな展開に関する研究は、防災科研内の他の研究と比べても、非常に地味で根気のいる研究活動・作業なのですが、この研究の成果は、将来において、地震時における地盤リスクに限らず、防災上極めて重要な基盤的情報です。今後も頑張って取り組みを続けていきたいと思っています。

